琉球大学学術リポジトリ

1960年の1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書No.1

メタデータ	言語:
	出版者:
	公開日: 2019-02-15
	キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官
	キーワード (En):
	作成者: -
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43867

極秘

大臣
次官
官房長
条約局長
北米局長

米局長（藤）

参事官

十月六日午出大臣在京米大使会談録

（東郷）

日時　十月六日午後四時一〇分より約三十五分間

出席者　佐藤出大臣　米保長
マッカーサー大使　ソーン書記官

大使　本日は文化使節問題に関し二三思ふつく使ふ迄ふ也と云ふ。お話引き続いてこれが通告を見た。参上した。右件に関する日本のパブリック、リアクションとは心配しかけている。右件を採上げて呉れん

なお、米国としては、日米友好関係、殊ては日米関係全般を

強化しあることにあるのであり、其の点は右側同様であると思ふ。

思ふ。先般外務長官が米国としては現に有する条約上の権利を自ら制限し、特に安全保障の義務を負ふのであって、米国から見れば所謂なことになると云ふが、その為に西ドイツ、特に沖縄に基地を作り得ないならば、は押ふて強硬であると述べたことを御了承であると思ふ。此点に最

上のプレスの論調は、恰も仏が日米関係を疎遠にするかの如き調子に見える。仏は日本にとり又自分にとり又世界に、殊に

とても甚だ複雑な事態である点、殊に感じては目下問題になっている懸案職務内容と右件とが結び付けられて、殊に右件に関する議論が混乱している様に思う。懸案職務は日本の問題で、あって両者は別個の問題であるが、若し両者が結び付けて論ぜられる様な事情があるならば、右件事務は或勤務処はともいうのには（例えば一二月）なりと思う。但し自己意思表示慌に属する方がよろしき筈なれど、職務上に於いて深い喜憂を与えた。即ち其の人の意見では現

在の情勢の様で右件交換を急速に進めては日本国民に益々悪感を与えることを恐れ、特に懸案職務内容が片付き、意向に於て右件をに関し[illegible]が重要な様な時点待つる方が賢明ではないかと云ふことである。更に右件は日本国民の改善強化に資するのでなければやる意味がなく、右件に因り国内及び意内に好感を起こし、改善されるに非ずば寧ろ出来ない方が出来ないことはつきり御了解願い。今プレスすべきものはないと

次に条約改訂の問題に言及される。米国の考え方は沖縄中立案を含む改訂に「入っていないが、それは、若しくは入れなければ米国は日本と沖縄の主権を踏躙せんとするものであり米国は右改訂の日本の潜在主権を排除し、日本を永久に支配しやうとするものである」との趣旨の米側文書を見たからである。私は之を含めることが日本で政治的な議を起こし日本をアンビバレントにし、日本国内に逆効果となるとみることもあるなら、之は問題を誤まる虞がある。

のであるが、右のことでは之を含まないことを以て様な国内的な虞中する虞を考える気持である。即ち之を含まないことを考える理由は日本の要に沿う為であり、豆内及日本内に妥協の種を蒔く為であり、更に沖縄中立を含めることが施政権返還と交換バレンシに出ることを恐れる印象を日本で受け取られる虞とのバレンシに出ることを恐れる印象を日本で受け取られる虞とのバレンシに出ることを恐れる印象を日本で受け取られる虞とのバ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出いてゐることゐふ二ことはないのである。先般山田宮内が申されたごとく
十分満足とは思はれぬ点は多少あるものと思ふ。たゞ
ワシントンが日本のパワフルクリエイションに対し心配し始めたるとゐふ点
が問題で、ワシントンが心配を始めると自らの主張が世に出ないとゐふこ
とになるのは非常に残念と思ふ。之に対し今後は日本側の
意思を十分ペースで、ペイトの会議で通ずることが肝要であ
ると思ふ。

次に軍事用に関する協議の問題は、先般の第三委の解釈
に付き会議中止となり、第三委に於て出例が協議を行ふは日本
基地を日本人の作戦使用の為に協議すること及び出撃
右の軍を日本人に移動させることに日本側の拒否権を認む
ることは、移動せよ云ふは作戦使用とは別の問
題で、此の点は米国が既存しているわけで他の国の取扱ひと
違ひ米国は必ず留保している。移動の場合にも主権問

望として協議はすべきであろうが、拒否権は認められない。此の点は
日本側より満蒙は別を思わず、満蒙不割譲の線（満蒙は支那）
堅持するとのことであるから今申上げた通りである。
右は以上述べたる通り、考つて支を基礎として我方は進ませる筈である。
なれども日本側にようかんを与へる積りは無し、又仏蘭
西等の日本国信を彼方へやることは考へていない。
大臣　事務を採択するに当り日本側に於ては大体の進ぶ

れた以上全く同じである。最初ワシントンの会議に於ては保障条約
が出る前、日本が新聞論調は之を絶対に反対したと云つて
居ぬ。現在いろいろな
考ぬ方面論調もあり、要するに事実である。新しい事件は安保
條約の為に因るものと云はんまたとは云ひ難い。即ち経済機関の問題
あり又ブラウン記者を通じての不幸なイキサツも立に関連している。
此等の事情は一般的に大体を達成出来ないから極めて不満
なる点。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十度　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十五　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うなる国情を設けてPRを行はせることとしたが、之り経験内容で
停滞している。
現在日下の状況では件に関する初陣が事実上行はれないのは遺憾
である。先例中も移民等の進出を待つていなければ
ならない。
尚現在の国勢でスロッタンしなければならぬ事情はよく
分る。但例えばプエスト並持なれば、その時が来る迄は無理に

進出はしないと思ふ。又件の経験は捕虜を通じて其の影
響を受けると云ふならば経験の一致結を待つべきである。大臣は
二千名と言はれたが二千名でもよし又其の倍迄待つて差支ない。又
プレスに表る会合の前にはプラスがポイントの会談をやりたい。又プラス
ポイントの会談についても、自分としては米国側の考は全部申上げてし
まそうと思ひ日本側から更に重要な意見があるべきはず
は自分の方からは此の際重理に訴する考はない。

氏はワシントンで上院議員をしてゐたが、フルブライト議員とその人で
あつた。同議員が若い頃、共和党のパートナー
シップとミーティングの総会を設定すること、幾職哲学者の問題を
は別個の問題であつた。殿様方から話を見てもらつてゐること、まを頂い
て戴くようにすべきだと思ふ。彼は非常に振る人で行動に
対する感じなのと思ふ。今回は外務委員会、防衛委員会の委員
長をして初めての訪米であり、特に日米貿易及び安全保障

協力の重要性を説いて戴くよう有益であると思ふ。はなの事務
局で対面まで研究してあるが、今回は頑張ってもらはや
ならや問題であるが、日本の国内問題ではないかとの話をされるかは
知らぬ。日本の国内の判断の問題である。何れにせよ貴方に及ぼす影響
一応今はわる個人のものであると思ふ。

七月　ラスクサンスを会とはよいと意見だと思ふ。（五時十分）

以下懇談を続ける国会の見通しは大変ゼロードで大使の国内は広い

外務省

○

[illegible]